

「ICTイノベーションセミナー ～デジタル化時代の分野間連携～」を開催

北陸情報通信協議会(会長 久和 進)は、令和3年6月28日(月)、北陸総合通信局、ICT研究開発機能連携推進会議との共催により、株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル 東博暢氏を講師に招いて、ICTイノベーションセミナーをWeb方式で開催しました。

最初に、北陸情報通信協議会イノベーション部会 丹康雄部会長(北陸先端科学技術大学院大学副学長 教授)が、「個別のIoTシステムは定着してきたが、今後は、異なる複数のシステムの連携により、その効果を狙う段階に来ている。個別の案件を見るのではなく、全体を広く見る見方をしないと今求められている課題の解決にはつながらない。今回のセミナーの内容を今後の取組の参考にして欲しい。」と挨拶しました。

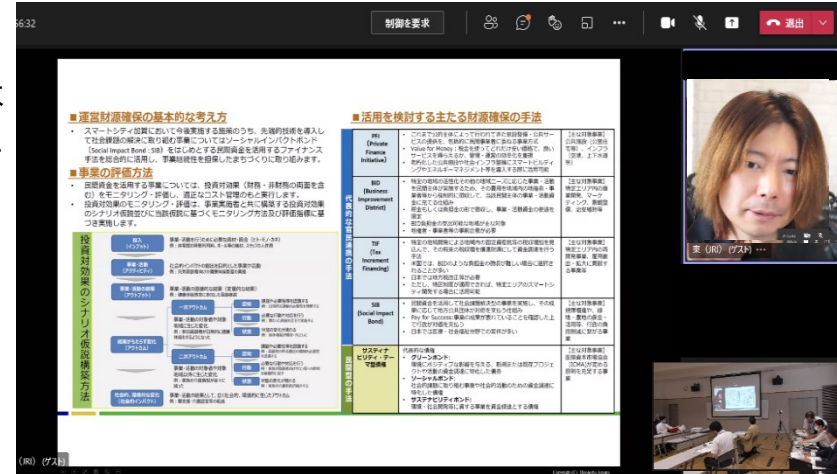
続いて、講師の東氏が、「異業種・分野間連携によるスマートシティ政策の動向」と題して講演を行いました。

講演では、世界各国でのスマートシティ・デジタル化の取組状況やスマートシティ政策を進める上での必要なキーワードを示すとともに、ウイズコロナ時代に我々はどのように地域課題を克服し、未来をデザインするのかと提起しました。

また、日本のスマートシティが、2020年から関係省庁の政策を統合して本格始動した経緯や直近の課題等を説明し、その集大成として「スーパーシティ」構想の概要や複数分野の「データ連携基盤」の構築についても述べました。

さらに、これまで携わった奈良市や加賀市での取組を紹介し、スマートシティ計画は行政改革に近いものであり、きちんとした位置付けをして総合計画に基づき推進することが大切、として講演を締めくくりました。

当日は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、Web方式での開催となり、約50名が聴講しました。



【Web方式セミナーの画面】
※画面右上が、講師の「東 博暢氏」

2021年06月28日(月) 14:00 - 15:00
北陸総合通信局/北陸情報通信協議会
ICTイノベーションセミナー～デジタル化時代の分野間連携～
※ 訳: Zoom

異業種・分野間連携によるスマートシティ政策の動向
次世代型PPPによる地域DXの推進

東 博暢
大阪府立大学 研究推進機構 特設教授
スマートシティ研究センター スーパーバイザー
株式会社日本総合研究所 プリンシパル
Incubation & Innovation Initiative 代表/統括Director

【問い合わせ先】
北陸総合通信局情報通信部電気通信事業課
電話: 076-233-4421